2025 年 2 月 21 日
株式会社　筑邦銀行

【九州・沖縄地銀連携協定：愛称 Q-BASS】
活動報告会の開催について

株式会社筑邦銀行（頭取：鶴久博幸）が参加する「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた九州・沖縄地銀連携協定・Q-BASS（注 1）が発足し、約 1 年が経過いたしました（2024.1 月発足）。

今般、Q-BASS 参加の九州・沖縄・山口の地銀 13 行（注 2）が、1 年間を振り返って活動報告会を開催しましたので、その開催内容をお知らせいたします。

記

【開催日・場所】
2025.2.12（水）　全国地方銀行協会
【出席者】
13 行頭取
【報告概要】
各プロジェクトの実績および進捗報告
（※資料は次ページ以降参照）

九州・沖縄地銀連携協定はQ-BASS の愛称で活動し、今後も「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、13 行が一体となって九州・沖縄・山口経済の更なる成長を目指して参ります。

（注 1）Q-BASS（読み方：キューベース）
Q-BASS は、「Kyushu-Okinawa Banking Alliance Semiconductor Solution」の頭文字を取った愛称になります。九州・沖縄の Q には「無限大」の意味を込めて名付けております。

（注 2）13 行（五十音順、株式会社省略）
大分銀行、沖縄銀行、鹿児島銀行、北九州銀行、佐賀銀行、十八親和銀行、筑邦銀行、西日本シティ銀行、肥後銀行、福岡銀行、宮崎銀行、琉球銀行、山口銀行

以　上

≪本件に関するお問い合わせ先≫
株式会社筑邦銀行　企画本部企画グループ
TEL　0942-32-5897

九州･沖縄地銀連携協定（Q-BASS）活動報告

（愛称）Q-BASS　読み方：キューベース
Kyushu-Okinawa-Banking Alliance Semiconductor Solutions

2025年2月12日（水）

【経済波及効果、Q-BASSの概要】

「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた九州・沖縄地銀連携協定（Q-BASS）

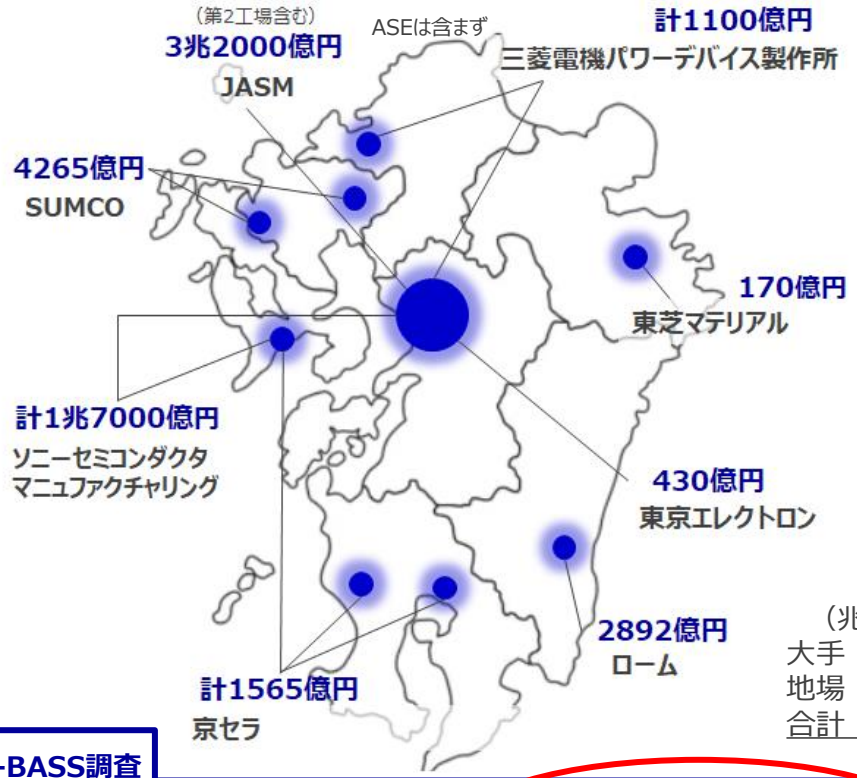
九州・沖縄・山口における半導体産業の動向（設備投資と経済波及効果）

- 24.12月、**九州経済調査協会はQ-BASSと連携**して、九州地域（九州・沖縄・山口）における半導体関連設備投資による経済波及効果を更新（前回調査は23.12月）。**投資総額6.2兆円に対する経済波及効果は23兆円（前回比+2.9兆円）**と推計された
- うち、**九州地場企業による投資は110件・総額1,194億円**であり、**その経済波及効果は1.3兆円**と試算された

〈半導体関連設備投資計画〉

201件・総額6.2兆円

（2021年から2030年の10年間）



（兆円）
大手：6.1
地場：0.1
合計：6.2

〈九州地域における10年間の経済波及効果〉

単位：兆円

	設備投資	生産活動	合計
最終需要	**6.2**	**7.9**	**14.1**
前回比	+0.1	+0.3	+0.4
経済波及効果（生産誘発額）	**8.4**	**14.6**	**23.0**
前回比	+1.1	+1.8	**+2.9**

➔ **九州地域内の経済波及効果は23兆円**

➔ **前回の推計から2.9兆円の上方修正**

Q-BASS調査

うち、地場企業による投資は110件・総額1,194億円

うち、地場企業の投資による経済波及効果は1.3兆円

「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた九州・沖縄地銀連携協定（Q-BASS）

Q-BASSの概要①

*九州地域戦略会議
「九州はひとつ」の理念のもと、官民一体となって九州独自の発展戦略の研究や具体的施策の推進に取り組んでいくため、「九州地方知事会と九州・山口経済連合会との意見交換会」を発展する形で2003年設立

- 23.10月、「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、九州地域戦略会議*にて「産・官・学・金」が一体となり地域の活性化に取り組むべきとの提言がなされ、金融機関に対する期待が高まった
- 24.1月、九州・沖縄の第1地銀が共同で諸課題に取り組むため、11行で連携協定を締結（24.5月、山口・北九州が加入し13行体制へ）

連携行（13行）

（幹事行）

（締結日）2024.1.16

福岡銀行、肥後銀行、西日本シティ銀行

（参加行）

大分銀行、沖縄銀行、鹿児島銀行、北九州銀行、佐賀銀行
十八親和銀行、筑邦銀行、宮崎銀行、琉球銀行、山口銀行

設立経緯

- 経済産業省が策定した“半導体・デジタル産業戦略”において、**九州は“産業用先端半導体の世界的な生産拠点”に位置付け**られている
- **2023年10月に開催された“九州地域戦略会議”**では、半導体関連産業の集積・雇用創出・交流人口拡大などがもたらす経済成長を最大化するため、**「産・官・学・金」が一体となって地域の活性化に取り組む必要性の提言**がなされ、**金融機関に対する期待**が高まった
- 九州・沖縄での半導体関連産業を起点とする経済成長に、より具体的かつ能動的に貢献するためには各行単独ではなく、**九州・沖縄地銀が共同で諸課題に対して取り組む“新たな枠組み”**が必要となることから、検討を始め、本協定の締結に至る
- 本協定では、**九州経済産業局や九州経済連合会などの各種コンソーシアムと連携**し、その実働部隊として、**九州・沖縄の「経済全体のパイ」を大きくすること**を目指す

Q-BASSの概要②

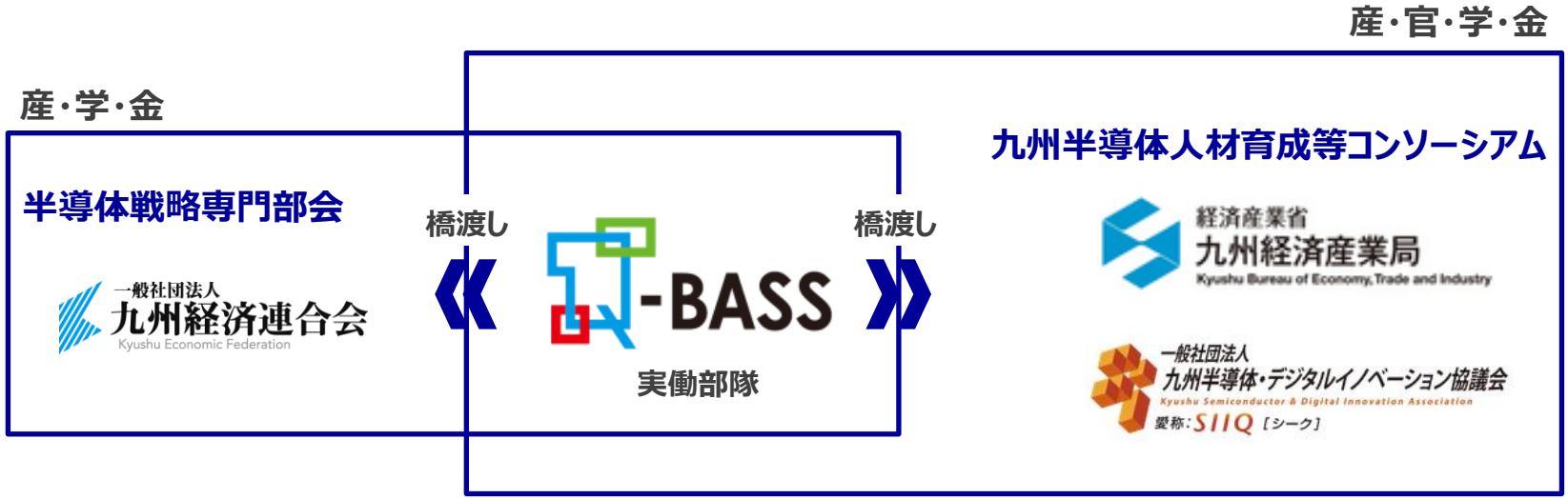
■ Q-BASSは、九州経済産業局や九州経済連合会などの各種コンソーシアムと連携し、その実働部隊として**九州・沖縄・山口の「経済全体のパイを大きくする」ことを目指し**、九州・沖縄・山口経済の持続的な成長に貢献。**結果として、各行の収益増加に繋げていく方針**

目的

「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、九州・沖縄の各地銀が連携し、シナジー効果を発揮することで、**半導体関連産業集積の促進**や、**半導体を起点とする他産業**および**社会インフラの強化**を図り、**九州・沖縄・山口経済の更なる成長を目指す**

- 2024.1.16、地方銀行会館（@東京）での記者会見の様子
- 11行頭取が出席

外部アライアンスとの連携



「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた九州・沖縄地銀連携協定（Q-BASS）

Q-BASSの運営体制

■ 事務局会議で情報共有やプロジェクトの組成を検討。具体的な企画立案や施策実行はプロジェクト内で行っていく

		会議の開催回数
事務局会議	**■ 幹事行：福岡、肥後、西日本シティ** • 情報共有や共同プロジェクト組成の検討を行い、全体方針の策定と意思決定を行う • 事務局会議で具体化した企画はプロジェクトとして立ち上げ	**計17回**

プロジェクト立ち上げ（現時点では3プロジェクトのみ。今後増えていく予定）

サプライチェーン強靭化PJ	**【目的】お取引先企業の成長支援（サプライチェーン参入支援）** **■ リーダー行：福岡、副リーダー：肥後** • 13行共同商談会を開催し、取引先のビジネス拡大に貢献。九経調やSIIQとの連携も検討 • サプライチェーンポジション別に事業者の課題・ニーズを整理し、共同でソリューションメニューの検討も行っていく	**計16回**
ファイナンスPJ	**【目的】単独では難しい大型案件の取り組み、融資目利き力の向上** **■ リーダー行：西日本シティ、副リーダー：福岡** • 単独行では対応が難しい大型案件を、連携行でシ団を組成し、融資実行することを目的として立ち上げ • 融資目利き力向上のため、13行審査セクション共同勉強会の開催なども企画	**計19回**
サステナ推進PJ	**【目的】お取引企業のサステナビリティ経営支援** **■ リーダー行：肥後、副リーダー：福岡** • 各行や所有するサステナビリティ分野の商品やサービスなどの相互利用促進を検討 • サステナビリティ推進機運の醸成のため、13行行員向け共同勉強会の開催や、13行取引先向け共同セミナーの開催などを計画	**計19回**

【実績と進捗中の項目】

「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた九州・沖縄地銀連携協定（Q-BASS）

実績や進捗中の項目

【事務局会議】

#	項目	内容
①	台湾地震・義援金募金の実施（2024.4.22）	• 寄付先：日本赤十字社「2024年台湾東部沖地震救援金」 • 金額：11百万円
②	スタートアップワールドカップ九州予選への後援参加	• 2024.8.27@熊本城ホール • 世界各国50ヶ所以上で予選を開催。日本は、東京・京都・九州の3ヶ所
③	第1回・九州半導体展への後援参加	• 2024.9.25～26@福岡マリンメッセB館 • 集客支援（出店企業と大学生の集客対応）。2日間で7千名超が来場
④	半導体・日台協業プロジェクトの始動 P12	• 九州大学、台湾・陽明交通大学、九州経済連合会及びQ-BASS4者による地場企業の台湾サプライチェーン参入支援プロジェクト

【サプライチェーン強靭化プロジェクト】

#	項目	内容
⑤	九州経済調査協会との経済波及効果試算の協業	• 2024.12.24公表の経済波及効果の試算を協業サポート • 九州地場企業による投資110件・総額12百億円による経済波及効果は1.3兆円
⑥	台湾商談会の開催（@2024.12.25） P13	• 日台半導体関連企業による商談会@台北 • 福岡・熊本両県を中心に日本側から30社、台湾側から33社が参加。商談件数は140件

「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた九州・沖縄地銀連携協定（Q-BASS）

実績や進捗中の項目

【ファイナンスプロジェクト】

#	項目		内容
⑧	「案件を増やす」取組み	**【案件の創出】** 大手半導体関連企業に対する提案	• 大手半導体関連企業に対し、シローンを組成を検討
⑨		**【案件ルートの拡大】** 大手金融機関への広報活動	• メガ等の大手行にQ-BASSを紹介。情報交換を実施
⑩		**【紹介ツールの作成】** Q-BASS紹介パンフレットの作成	• Q-BASS概要、各プロジェクト紹介などを掲載したパンフレット作成
⑪	「案件の確度を上げる」取組み	**【業界知見の向上】** 審査部門向け研修、工場視察	• 24.8月にJCR・DBJを講師に招き、審査部門向けセミナーを開催 • 25.3月には、大手半導体メーカーの工場視察を予定

【サステナビリティ推進プロジェクト】

※SSI＝Sustainable Scale Index（取引先企業のESG評価ツール）

#	項目	内容
⑫	**肥後と福岡による「炭削くん×SSI*」相互導入**	• 肥後銀行のCO_2排出量算定システム「炭削くん」と、福岡銀行の「SSI」の相互導入決定（ニュースリリース済。導入時期：2025年中）
⑬	**行員向けサステナビリティ合同勉強会の開催（計2回）**	• 第1回：2024年11月28日（木）16：00～17：00 【講師】 全国銀行協会 企画部サステナビリティ推進室　吉原様 【内容】「脱炭素・サステナビリティ経営に向けた導入部分、地銀の役割」 • 第2回：2025年1月17日（金）16：00～17：00 【講師】 九州経済調査協会　常務理事兼事業開発部長　岡野様 【題目】「九州の半導体産業の特徴やポテンシャル」
⑭	**取引先向け（自治体、企業）脱炭素セミナー**	• 日時：2025年2月14日（金）13：00～16：30 • 第1部・自治体向け　～　登壇者：環境省九州地方環境事務所、熊本県、北九州市 • 第2部・企業向け　～　登壇者：九州経済産業局、田中鉄工、山下工業所 • 開催方法：オンライン開催、定員：1,000名

【今後検討の項目】

今後検討の項目

【事務局会議】

#	項目	内容
Ⓐ	**第2回・九州半導体展への参画検討**	• 2025.10.8～9@福岡マリンメッセA・B館。規模感を約2倍に拡大して開催予定
Ⓑ	**ファンド出資の検討**	• 参加行でファンドへの出資を検討
Ⓒ	**事業承継・M＆A情報ネットワークの構築検討**	• 各行が事業承継・M＆Aを行っていくうえで、悩みごとやその解決策を共有するための枠組み作りを検討
Ⓓ	**半導体製造プロセス体験講座への参加検討**	• 九州工業大学が実施する半導体製造の全プロセスを体験出来る講座へ参加

【サプライチェーン強靭化プロジェクト】

#	項目	内容
Ⓔ	**国内での商談会開催の検討**	• 台湾商談会に続き、国内での商談会開催を検討

【ファイナンスプロジェクト】

#	項目	内容
Ⓕ	**大手半導体関連企業に対する提案の強化**	• Q-BASS参加行による大型案件の組成

【サステナビリティ推進プロジェクト】

#	項目	内容
Ⓖ	**お客様、行員のリテラシー向上の取り組み継続**	• 行員向け勉強会、お客様向けセミナー等の継続開催。サステナビリティ関連情報の発信等
Ⓗ	**お客様のサステナビリティ経営支援の高度化**	• 取引先のサステナ・脱炭素経営支援高度化に向けた各行ソリューション、ノウハウ等の共有

【参考資料】

「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた九州・沖縄地銀連携協定（Q-BASS）

【実績・進捗中】事務局会議_④半導体・日台協業プロジェクト

2024.10.15
プレスリリース

「半導体・日台協業プロジェクト」の概要

- 2023年9月、九州大学と台湾の陽明交通大学は、人材交流や共同研究開発に係る覚書（MOU）を締結し、半導体分野においては、“産官学金連携の枠組みを活用した地域企業の半導体サプライチェーン（供給網）参入”を目標の1つに掲げました。
- 九州においては、熊本県菊陽町に新工場を建設した半導体受託生産の世界最大手、台湾積体電路製造（TSMC）を中心とした半導体サプライチェーンが今後新たに形成されていくものと見られておりますが、**地域の半導体関連企業にとってサプライチェーン参入の壁の高さが課題**となっています。
- そのため、九州大学と陽明交通大学は、九州経済連合会や九州半導体・デジタルイノベーション協議会（SIIQ）、九州・沖縄地銀連携協定のネットワークを介し、**地域企業と台湾TSMCサプライヤー企業における人材面と技術面での交流を促進し、地域企業の技術習熟向上の伴走支援を行うことで、地域企業の半導体サプライチェーン参入を目指す**べく本プロジェクトをスタートいたしました。本プロジェクトは、“大学の知識・技術に基づくハンズオン支援”が大きな特徴となっております。

Q-BASSの役割

- Q-BASSは、九州・山口・沖縄を網羅する13行のお取引様ネットワークを活用することで「半導体・日台協業プロジェクト」に参画し、九州大学、陽明交通大学および九州経済連合会と協業することによって、**“地域企業のサプライチェーン参入支援の成功モデル”**を作って参ります。

【実績・進捗中】サプライチェーン強靭化PJ_⑥台湾商談会の開催について

■ Q-BASS主催による初めての商談会を台湾・台北市で開催（2024.12.25）。福岡・熊本両県を中心に**日本側から30社、台湾側から33社が参加**し、**総商談件数は140件**となり、13行連携ならではの大規模な商談会となった

〈個別商談会の様子〉

〈企業交流会〉

参加者（全体約190名）	主要業種
国内企業（30社） **商談件数140件**	• 精密部品加工、板金加工、半導体装置製造、半導体材料製造、金型製造、真空ポンプ製造、機械装置メンテナンス、包装資材製造ほか
台湾企業（33社）	• 半導体装置製造、パッケージ関係、検査装置
その他	• 福岡県 • デロイト台湾ファイナンシャルアドバイザリー • 台湾経済部